

▶優勝した大山小スノーパー4年生



▶開会式後に記念撮影



大山小4年生がグランプリ！ 仮装して滑走大会

1月29日に「第16回仮装して滑走大会」が、だいせんホワイトリゾート中の原エリアで開かれました。

県内外の15チームが手作りの衣装、仮装に身を包み、音楽とともに特設コースを滑走し審査員の前でパフォーマンスを披露しました。

グランプリに輝いたのは地元大山小学校4年生と保護者、先生で結成した「大山小スノーパー4年生」のみなさん。蛍光色のスポンをはき、大山山頂に生息するヒメボタルを可愛らしく元氣いっばいに演じました。

福岡県から参加の女性2人組は、なんとこの日がスキー初挑戦。転びながらもコースを滑りきり、見事なダンスで会場の拍手を集めました。

競技終了後はグレンデで観覧のお客さんも参加しての大抽選会が行われ、会場は大いに沸きました。



▶はじけるダンスで大会を盛り上げる女性チーム

中山新春囲碁大会結果

中山新春囲碁大会が、1月14日に中山農村環境改善センターで行われました。和やかな雰囲気の中でも、勝負は真剣。参加者は一日囲碁を楽しみました。

結果は次のとおりです。(敬称略)

〔A級〕

優勝 田中章
準優勝 西尾和弘
3位 吉田繁成

〔B級〕

優勝 桑本丞章
準優勝 浅田清伸
3位 橋井隆司



▲一つ一つ確認していきます

今年のお告げはいかに？

逢坂八幡神社 管粥神事

旧暦の1月15日にあたる2月11日に、逢坂八幡神社(松河原)で管粥神事が行われました。

粥の詰まり具合を太田貴能禰(きよのり)が確認していきました。特産の梨は十分、白ネギは八分、ブロッコリーは六分という結果となりました。また、農水産物全般を占う『大年(おおとし)』の竹筒にも九分の粥が入りました。

「管粥神事」は、江戸時代から続く逢坂八幡神社の伝統行事です。集落から持ち寄った白米と24本の竹筒を鉄鍋で煮て、竹筒に詰まった粥の量を占い、粥の量が多いほど豊作とされています。

総代長を務める高見英毅さん(松河原)は、「今年は大雪の中での神事となり、どうなることかと心配したが、よいお告げがたくさん出てほっとした。この結果に慢心することなく、皆でいいものを作る努力を重ねて豊作にしたい」と話されました。